

- ・ 滞在研究機関名、滞在先研究室名、ホスト氏名

滞在研究機関名 : Institute of innate immunity, University of Bonn

滞在先研究室名 : Institute of innate immunity (Prof. Eicke Latz lab)

ホスト氏名 : Prof. Eicke Latz, Dr. Gabor Horvath (スーパーバイザー)

- ・ 交流・研究概要

私は今回、ボン大学のラッツ研究室を訪問し研究を行った。私は日本で細胞内の温度測定を行うための蛍光プローブを合成しており、ラッツ研究室で行った研究はプローブ合成後の細胞内評価を見据えたものであった。具体的には、マクロファージを刺激した際のリソソームにおける pH 評価を行い、免疫細胞の扱い方や刺激方法、観察方法やデータの評価方法といった一連の過程を学ぶことができたと考えている。また、ラッツ研究室のミーティングに参加し、自身の研究を紹介する機会もあり、活発な議論を肌で感じることができた。また、ラッツ先生の自宅で行われたパーティーをはじめとして、ラッツ研究室のメンバーと親睦を深めることができた。最終日の交流会では、ボン大学の様々な研究室の方々とディスカッション及び交流を行うことができ、非常に充実した 2 週間となったと感じている。

- ・ 滞在先の写真、相手の写真など（公表前提）



ラッツ先生と



スーパーバイザーと



ラッツ研のみんなと

- ・ 交流総括

私は今回のプログラムを通して、海外の一流の研究者たちの研究手法のみならず、研究に対する姿勢などを学ぶことができた。また、彼らと積極的にコミュニケーションを取ることで、自身の研究についての貴重なアドバイスをいくつか得ることができた。これは、日本での今後の研究に多いに役立つものと確信している。このような貴重な経験を糧に、日本での今後の研究をより発展させていきたいと感じている。

・ プログラム日程

8月16日-17日：ドイツへの移動

8月17日：LIMES 訪問, Institute of innate immunity 訪問(研究打ち合わせ)

8月18日-22日：Prof. Latz labにてマクロファージのミトコンドリアにおける熱産生の測定(Dr. Gabor の指導のもと)

8月25日-29日：Prof. Latz labにてマクロファージのリソソームにおけるpH変化の測定(Dr. Gabor の指導のもと), 27日には研究室ミーティングで発表

8月30日：研究交流会にて発表

8月31日-9月1日：日本へ帰国